

地域精神保健福祉を学ぶ市民の会

第3回 <映像を見る会・語る会>

孤立大国ニッポン ～私たちは何をすべきか～

本日の主題 ⇒ **孤立**

2021年4月4日(日) 9:00～12:00
大網白里市中央公民館 1階 講義室

本日の予定

1. ご挨拶 (本日の主題「**孤立**」) (05分)
2. ご参会者の自己紹介 (10分)
3. TVシンポジウムの視聴 (60分)
4. 休憩 (10分)
5. フリーディスカッション (90分)
6. 次回のご案内 (05分)

「孤立」と精神障害者の「リカバリー」

「世界一孤独な国」とも言われるニッポン。孤立死、ひきこもり、ごみ屋敷など、人と人とのつながりが希薄化し、社会から孤立して暮らす人が、あらゆる世代に多くいます。

一方で、地域コミュニティに人のつながりを取り戻し、孤立する人を救い出す活動も全国各地で始まっています。

どうすれば、誰もが孤立せずに安心できる地域を作れるか!!

先進的な孤立対策を進める実践者と学識経験者が“社会的孤立”的解消に向けて話し合ったTVシンポジウムを1時間視聴し、その後「孤立」を巡って<精神障害者のリカバリーの視座をも交えて> 90分間ディスカッションを行います。



＜登壇者＞

神野直彦(日本社会事業大学学長)

勝部麗子(豊中市社会福祉協議会)

谷口仁史(スクーデント・サポート・フェイス代表理事)

近藤恒夫(日本ダルク代表)

大国ニッポン
ちは何をすべきか

孤立死

自殺

ごみ屋敷

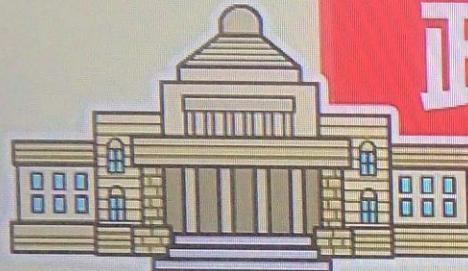
薬物依存

社会的孤立

虐待

不登校

ひきこもり



政治システム

経済システム

仕事

企業 工場など



機能不全

社会システム
家族・地域・生活

教育 医療 介護 福祉
ボランティア活動など

孤独を感じている子ども(15歳)

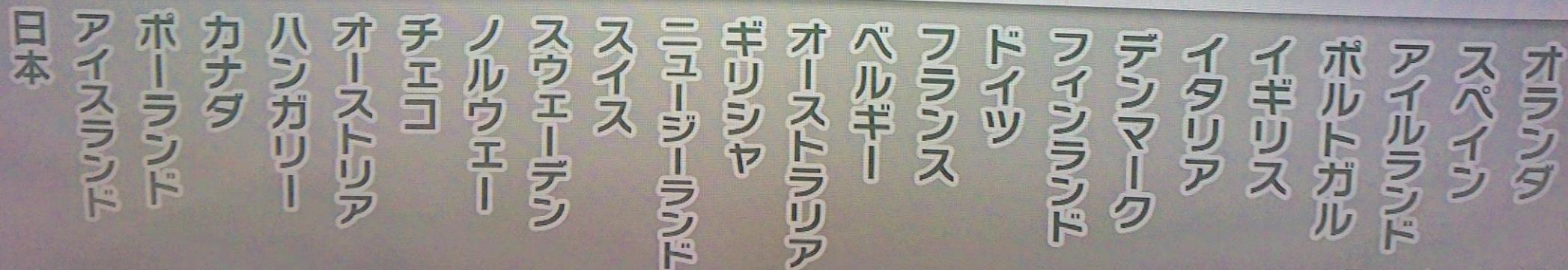
(%)

30

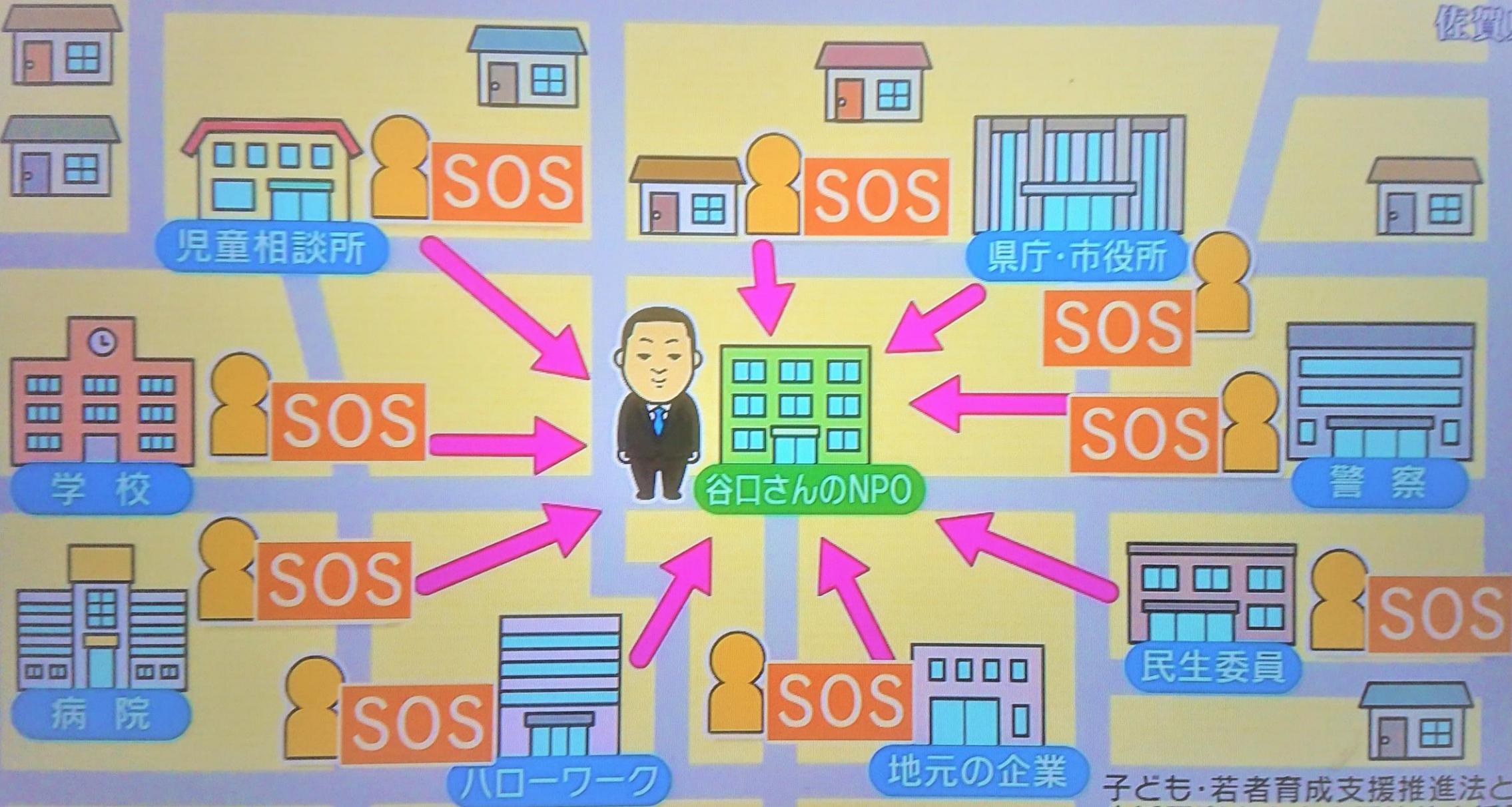
20

10

0

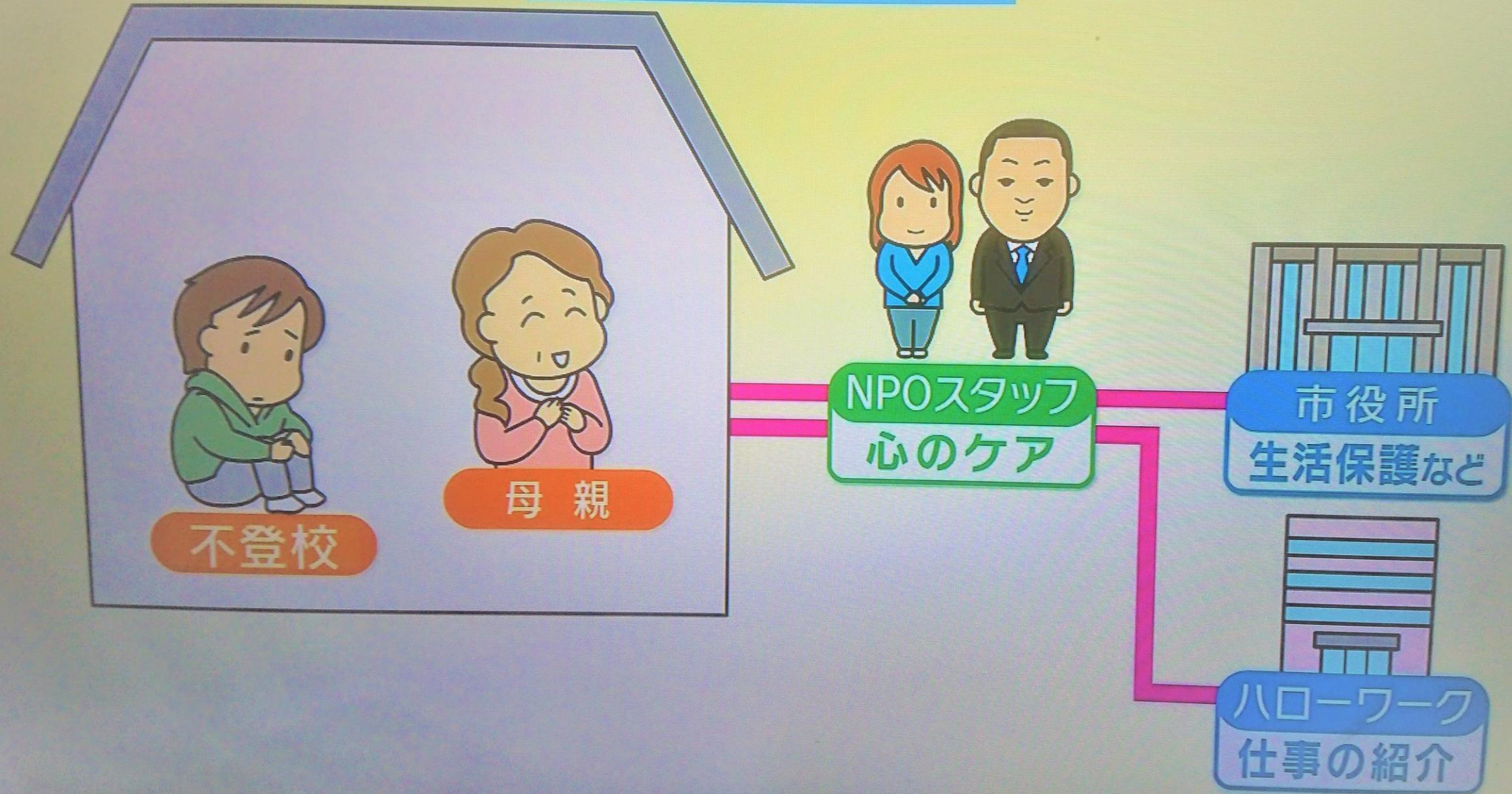


どんな境遇の子どもも見捨てない
佐賀県



子ども・若者育成支援推進法と
生活困窮者自立支援法等を活用

母子世帯の場合



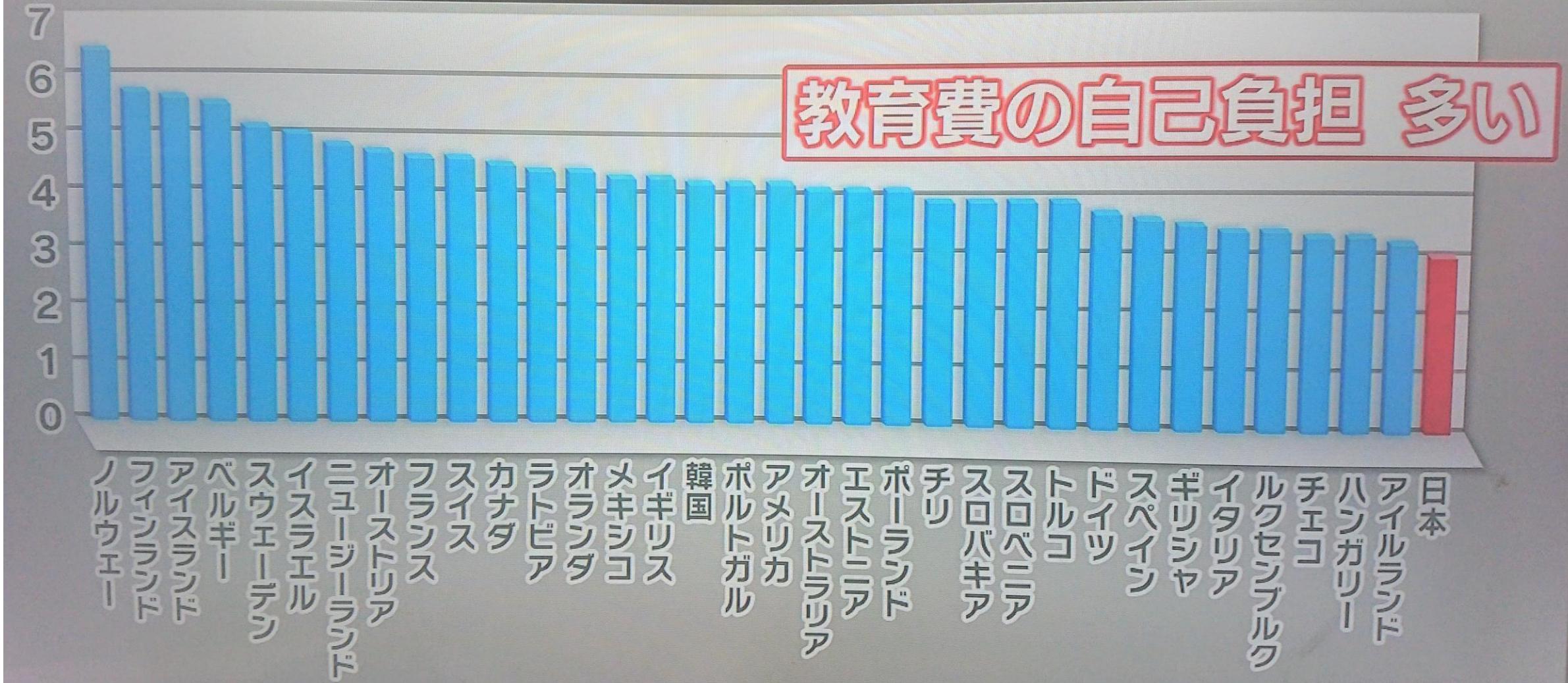
正規・非正規雇用者数



(%)

教育機関への公的支出(対GDP比)

教育費の自己負担 多い



孤立から陥る薬物依存 回復への道
日本ダルク

全国60か所以上
利用者 のべ10万人

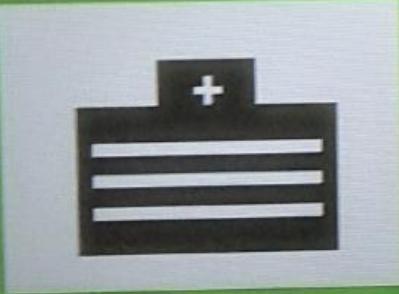
日本の司法制度



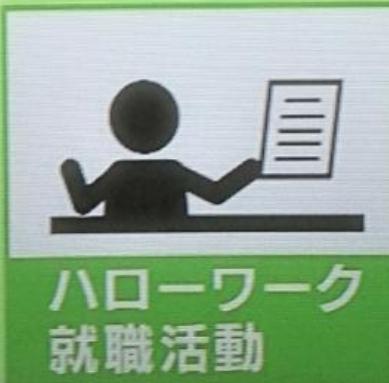
出所
→



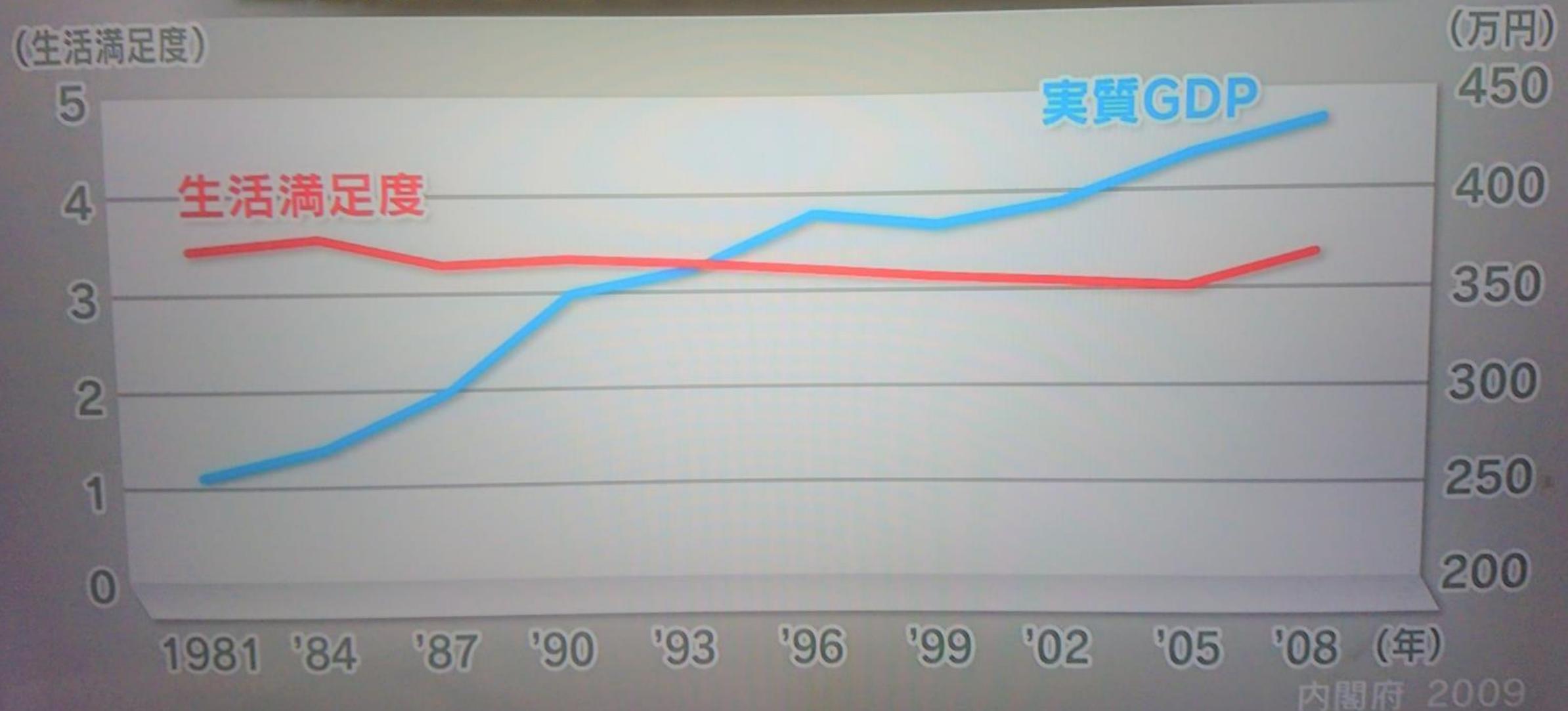
回復プログラム



新しい提案



生活満足度と1人当たり実質GDP



精神障害者の社会的孤立の背景

彼等の孤立を救う方策はあるのか…

リカバリー・モデルとは
どのようなモデルなのか

孤立からリカバリーへ

リカバリーの視座から

私たちには

どのような地域づくりが可能か

終わりに

地域精神保健福祉を学ぶ市民の会

のご案内

三本の柱によって

地域精神保健福祉の理解者を育てる小さな**福祉塾**です

1. 読書会 (毎月)

2. 市民の会交流会

～自らの生の軌跡を語る語り手の深い思いを聴き取る会
(隔月)

3. 映像を見る会・語る会 (隔月)

学びたい方はどなたでも学ぶことができます。

本日はご参会戴きまして

ありがとうございました。

主催者一同